

50

Northern California
Cherry Blossom Festival

1968 - 2017

A Golden Journey - 50 Years of Japanese Culture

第50回北加桜祭り開催!

今月8日(土)～9日(日)、記念すべき50回目の北加桜祭りが幕を開けた。前日までの雨予報を吹き飛ばす最高の晴れ模様となり、多くの人がサンフランシスコ日本町へ足を運んだ。開会セレモニーのオープニングを飾ったのは太鼓道場。気迫溢れるソーラン節と太鼓演舞は50周年にふさわしい盛り上がりを見せた。その後鏡割りから続く山田総領事による挨拶では、「50年という大きな節目を迎えられたのは多くのスポンサーやボランティアの人々の協力があったこと。長年関わってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。日本とサンフランシスコのコミュニティの素晴らしい歴史と文化を誇りに思います。」と語った。さらに今回は、これまで15年以上に渡って桜祭りをサポートし、日米関係に貢献した9つの企業とNPO法人に感謝の意を込めて山田総領事から賞が贈られた。

グランドパレードは4月16日(日)午後1時より Civic Center からスタート。グランドマーシャルの KONISHIKI をはじめ、落語家桂かい枝師匠など豪華な参列者が Post St を通り、フィナーレ会場の日本町へと向かう予定。



▲サンフランシスコ太鼓道場のソーラン節と太鼓演舞



▲オープニングセレモニーでの鏡割り



▲挨拶する山田総領事



▲コスチュームプレイヤー



今年のクインのみなさん



公道に向かって手を振る山田幹頼事



日本民謡舞踊連盟のみなさん



グランドマーシャルのKONISHIKI氏と奥様



4.16 Sun 岡山県矢掛町 大名行列



参勤交代で往来する諸大名の宿場町として繁栄した、山陽道の矢掛。その市街地を舞台に年に1度、再現されている絢爛豪華な大名行列が今年の桜祭りに登場。もともとは町のコミュニティを元気づけようと商店の人々がはじめた大名行列は、いまや矢掛の町の歴史と文化を象徴する一大行事になっている。江戸時代の日本を体験できる滅多にない機会。

4.16 Sun 国際文化学園 十二単

十二単は日本の伝統的な宮廷装束で、今から約千年前より現在の形が完成されていた。現代の天皇家で、皇后陛下をはじめ、皇族女子が実際に公式装束として用いている。日本の四季、自然をモチーフにして構成されていて、日本人の美意識が極限までに追求されている。非常に独特な着装法を見ることができる貴重な機会。十二単の襲ねの色目の美しさを通じて「日本」を感じることができる。



4.8 Sat 4.9 Sun 上方落語寄席 桑港繁昌亭

G JCCNC 4:00pm~5:30pm



桜祭り50周年、サンフランシスコ・大阪市の姉妹都市提携60周年を記念して行われる特別公演。落語家の桂かい枝、桂あさ吉の他、寄席三味線の勝正子、太神楽曲芸師のラッキー舞の出演が予定されている。英語落語なので、落語好きの方はもちろん、落語を知らない方も、誰もが楽しめる公演となっている。